



四日市市立博物館
プラネタリウム
四日市公害と環境未来館

四日市公害と環境未来館が開館 博物館・プラネタリウムがリニューアル

四日市公害と環境未来館、リニューアルした博物館・プラネタリウムがいよいよオープンします。今回の特集はその見どころなどを紹介します。両館を通して、新しい発見をして、学びの楽しさに気付くことで自分の世界を広げませんか。



←この「ARマーク」にスマートフォンをかざせば予告編の動画がご覧になれます。利用方法は13ページに掲載しています。

3月21日(祝) 13:00オープン

開館時間 9:30～17:00

休館日 月曜日(ただし、月曜日が休日にあたるときはその翌平日)

入館料 四日市公害と環境未来館 無料、常設展 無料、特別展 有料(展覧会ごとに異なります・中学生以下無料)、プラネタリウム 一般 540円、高校・大学生 380円 小・中学生 210円

ここが変わります!

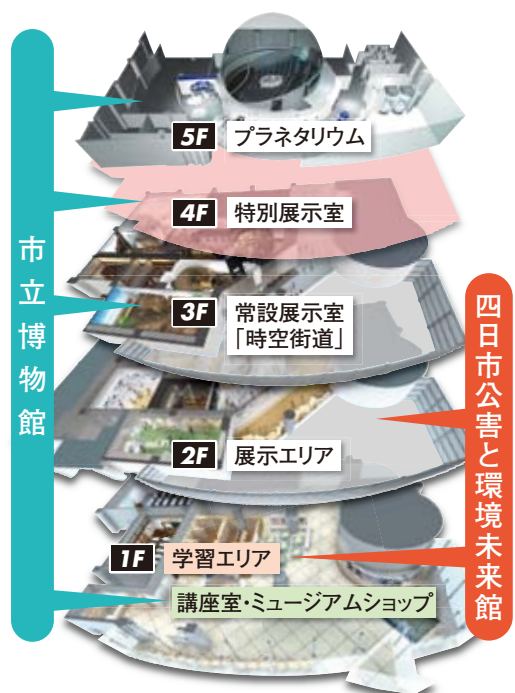
四日市公害と環境未来館を開設

四日市公害を知り、未来志向で環境問題を学び、活動していただくための施設として、博物館の中に開設します。

時空街道と世界最先端のプラネタリウムが完成

常設展が、資料を見る展示から原寸大の展示を体感できる「時空街道」となり、プラネタリウムは世界最先端の技術が導入されます。

博物館見取り図



※活動エリアは、じばさん三重2階



ここがポイント

四日市市ならではの特色～地球規模でみつめる～

博物館常設展「時空街道」→四日市公害と環境未来館→プラネタリウムと順番に見て回ることで、地球規模で暮らしや環境を考察することができる施設になりました。

館内おすすめの順路

CTY「ちゃんねるよっかいち」では、おすすめの順路で紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

四日市公害と環境未来館オープン！
博物館・プラネタリウムもリニューアル！
放送日時:3月11日～20日 9:00・19:30

原始・古代から現代までの暮らしの変化に注目

3階 博物館常設展



2階

四日市公害と環境未来館

経済優先の社会背景の中で公害が発生。その後の取り組みも知る



家電製品の普及など激的に暮らしが変化

5階

プラネタリウム

地球の住人として、自然や世界の恩恵を受けていることを意識



地球規模って？

原始・古代から現代まで2000年以上の暮らしの変化の中でも、特に明治期以降、高度経済成長期を経た現在までの約150

年は自動車や家電製品が登場するなど激的に暮らしが変化しました。その150年の急激な変化の中で、経済優先の社会背景から環境破壊につながり、公害が起きました。

本市では現在、大幅に環境改善が進みましたが、今の暮らしは世界のどこかの環境破壊の上に成り立っているかもしれません。公害を経験した本市だからこそ、公害の痛みを分かち合い、地球規模で環境問題を考えることができるのではないのでしょうか。

未来に豊かな環境を 引き継ぐために

四日市公害の歴史と教訓を風化させることなく次世代に伝えるとともに、環境改善と産業の発展を両立させるまちづくりの中で得た知識と技術を広く情報発信し、国際貢献も果たしながら、未来に豊かな環境を引き継ぐことを目指した施設です。

四日市公害

本市は、約半世紀前に「四日市公害」を経験しました。

当時の日本は、戦後復興から高度経済成長期に入り、経済優先の社会背景のもと、全国各地に大規模な工場が次々と建設され、工場周辺ではさまざまな「公害」に悩まされるようになりました。

本市も、大気汚染によって多くの人々がぜん息に罹患しました。

展示エリア/公害の発生

展示エリア イメージ



- ① 産業の発展とくらしの変化
- ② 公害の発生
- ③ まちづくりの変遷
- ④ 環境改善の取り組み
- ⑤ 現在の四日市
- ⑥ 環境先進都市四日市

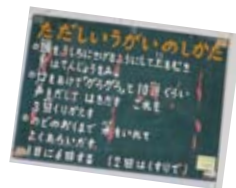
四日市公害を知る

まずは展示エリアを

施設は3つのエリアで構成され、知って(展示エリア/2階)、学んで(学習エリア/1階)、活動できる(活動エリア/じばさん三重2階)施設になっています。展示エリアでは、公害発生に至る社会背景から被害、対応・対策まで総合的に四日市公害を知ることができる展示になっています。

学習エリアで深く学ぶ

当時の塩浜小学校の教室をイメージしています。その教室内では、語り部による講話や体験学習などを受けることができます。



うがい場も設置。
当時の児童は
公害対策として
うがいをしっかり
行っていました

環境改善の取り組みを知る

公害は多くの不幸を生み出してしまいましたが、市民、企業、行政が一体となった環境改善の取り組みは、全国の公害対策や環境改善のモデルとされています。

展示エリアのシアターでは公害裁判を通して、市民、企業、行政の環境改善の取り組みがそれぞれの関係者の証言も交えた人間模様として描かれ、当時の状況を感じられる内容になっています。（※上映内容は他にもあります）

市民の取り組み

公害裁判をはじめとした市民の声は、環境改善の取り組みを大きく前進させました



公害裁判判決当日の様子
(中日新聞社提供)

企業の取り組み

高さ100メートル以上の煙突の建設や排煙脱硫装置の開発などを進めました



建設中の高煙突

行政の取り組み

市単独で実施した医療費救済制度は日本で初めての公害患者の救済制度でした



医療費救済制度を伝える広報
(広報よっかいち 昭和40年5月号)

そして未来へ

語り部の言葉をきく

野田さんと澤井さんは語り部として学習エリアでお話いただけます



公害裁判原告の一人
野田 之一さん

コンビナートができたとき、「発展する」「便利になる」ということで、誰も公害になってしまうなんて思っていませんでした。

同じことを繰り返さないためには四日市公害は語り継いでいかなければなりません。未来に向けて、一人ひとりがかけがえのない地球を守っていく気持ちが必要です。



公害を記録する会
澤井 余志郎さん

当時、公害患者さんが自殺をしたことに衝撃を受けました。そして、公害をなくすには、公害の実態を伝えることだと考え、患者さんの話を聞くことから始め、さまざまな苦しみの実態を記録してきました。

「四日市公害と環境未来館」を通して、皆さんにこうした実態を知って考えていただくことが、患者さんに報いることになるのではと思っています。



四日市大学
環境情報学部 総合政策学部
豊田 美波さん、山岡 亜希さん

友達に四日市って言うと、「四日市公害だ。空気は大丈夫?」と言われることがあります。もっと、環境改善の取り組みや現在の四日市の姿を発信して、それを継続していくことが必要だと思います。

展示を見たり、語り部さんの話を聞いたりするなど、空間の中で体験することは心に残ります。「四日市公害と環境未来館」は、そういった空間の中で四日市公害を知ることができる場所だと思います。ボランティアも四日市でしかできないことなので頑張ります。

大学などと協定を結んで、施設の中身を充実させます。四日市大学生にはボランティアで語り部の講話の補助などもしていただけます。

【協定締結先】

鈴鹿工業高等専門学校、名古屋大学大学院環境学研究科、三重大学、四日市大学(五十音順)

市立博物館の常設展を「時空街道」と名付け、四日市の各時代を象徴する建物を原寸大で再現し、原始・古代から近世までの歴史の流れを体感できるようにしています。

時空旅行で記念撮影

館内では写真撮影ができます。

江戸時代の四日市に
行ってきました



「**時空街道**」

を歩いてタイムトリップ

**2000年前の
四日市の住居って？**

久留倍遺跡の発掘から久留倍の村（現在の犬伏地区）の竪穴住居を再現。ここに設置しているマネキンは、顔の形まで弥生時代の人のデータに基づいて再現しています



(原始・古代) 久留倍の村

**四日市と言えば
四日の市**

四日の市は実際、どんなところで行われていたのでしょうか。



(中世) 四日の市

**東海道五十三次の
四日市**

何度でも

原寸大の展示は見どころも満載。毎回違った発見がきっとありますよ



(近世) 四日市宿



世界一や
世界初もいっぱい

宇宙空間から星を観察

宇宙旅行に旅立ちませんか

港町四日市にちなんで5階フロアを「GINGA PORT 401よんまるいち(※)」と名付け、宇宙の港と位置付けています。

そこに停泊する宇宙船に見立てたプラネタリウムドームに入り、宇宙旅行に旅立つ設定になっています。

※四日市→4日1→401→よんまるいち

世界最先端のプラネタリウム

- 光学式投映機としては世界で最も多い約1億4千万個の星を投映し、世界で初めて約9,500個の星の色を再現
- 高画像の8Kプロジェクターをプラネタリウムでは世界で初めて導入(※) ※(株)五藤光学研究所調べ

観覧空間もこだわり

- 人間工学に基づき、快適に観覧できる独自開発のプラネタリウム専用座席
- 床下も含めて合計60個のスピーカーによる臨場感あふれる音響

みなさんのお越しをお待ちしております!



プラネタリウムチケットについて

- 当日券(全自由席)のみ
- 予約(平日のみ)は、一般団体(20人以上)に限り、4月1日から受け付けます

座席など

- 2人掛け席、車いす用スペース、補聴システムがあります

編集後記

四日市公害と環境未来館や生まれ変わった博物館・プラネタリウムは、地球規模で生活を見つめ、人にとっての豊かさとは何かを考えることのできる施設ではないでしょうか。皆さんもぜひご来館いただき、自分なりの感じ方を見つけ、それを学びや活動につなげていただければと思います。(四日市公害と環境未来館準備室 樋口、博物館 廣瀬・加藤、広報広聴課 三谷)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は **四日市公害と環境未来館準備室 ☎354-8065 FAX 354-4412**
博物館・プラネタリウム ☎355-2700 FAX 355-2704
広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974